

伊藤ともこの議会報告



平成 30 年 9 月議会は、9/6～28 日までで会期は 23 日間でした。
29 年度決算認定は賛成多数で可決。議案も全て可決しました。

注目した決算内容

●「こども総合相談窓口」 5,091,000 円

平成 29 年 4 月から専門の相談員を配置し、電話や窓口で相談を行っています。妊娠期から子育て期まで、どんなことでも相談できます。

●「かわせみバス車両管理費」 16,540,416 円

ダイヤ改正で、博多南線との接続が改善しました。行先が分かりやすい LED 行先表示器の設置がされました。

便数が少ない、乗りたい時間帯にかわせみバスがない等、住民の皆さんの声をお聞かせください。

●「防犯カメラ整備事業費」 4,590,000 円

内田交差点 2 台、道善交差点 4 台、那珂川橋交差点 4 台が町内に設置しています。設置後は、犯罪件数が減少しています。



枯葉剤が埋まっている



きけん!

佐賀県神埼郡東脊振村字松隈クセ谷（福岡県と佐賀県の分水嶺南畑ダムから 5 km 程度の位置で、数 m 先には九州自然歩道の散策路があります）に枯葉剤の主要成分となる 2,4,5-T 剤 945 kg が埋設されています。2,4,5-T 剤は 1975 年に催奇形性の疑いのため、農薬登録が失効しています。全国で数十箇所、九州は 10 市、6 町に埋設されています。

埋設位置が水道水源である南畑ダム、五ヶ山ダムを含む那珂川水系の流域界付近なので、水源汚染が懸念されます。

●那珂川町の対応

平成 4 年から住民の安全で健康的な生活を守るため、那珂川町、福岡市、春日那珂川水道企業団、福岡地区水道企業団で、林野庁九州森林管理局に「2,4,5-T 系除草剤の移設及び無害化处理等について」の要望活動を毎年行うも、撤去に至っていません。

伊藤ともこ 9 月一般質問

●不登校について

◎不登校とは

病気以外で 30 日以上欠席。
心理的、情緒的、身体的、社会的要因や背景などで登校しないしなくてもできない状況。

◎不登校兆候とは

遅刻や早退 ÷ 2 = A
A + 欠席 + 保健室利用 = 15 日以上で欠席が 30 日未満。

◎那珂川町の状況は（平成 29 年度）

小学生の不登校	27 名	中学生の不登校	87 名
兆候	31 名	兆候	100 名

このうち 90 日以上欠席している児童生徒もいます。全国的に児童生徒の人数は減っていますが、不登校の児童生徒は増加しています。

那珂川市では横並びに推移し、減少には至っていない現状を指摘し、「家庭環境に起因する不登校の増加で、問題解決に時間がかかるため」との答弁でした。



「すべての児童生徒が安心して教育を受けられる学校環境の確保を」

◎那珂川町の学習支援（2018 年現在通っている生徒）

- ・わかば教室（中央公民館内） 10 名
集団生活に適應する力を育むことが目的です
- ・フリースクール 0 名
民間が經營しているので特色があります
- ・サポート教室（各中学校内） 25 名
不登校専任教員の運営でプリントなどを行います
※いずれも出席扱いになります！

「教育機会確保法」が施行され、子どもたちの教育の多様化と学校を休んでもいいことが、法的に認められました。

「社会は人が健全に傷つくための仕組み」奥田知志談
子どもたちが多くの人との関わりや、経験によって健やかに成長ができるようことを願い、ソーシャルスクールワーカーの複数配置、LINE を活用した相談窓口の設置などの提案を行いました。

次回の議会では未就学児童以前の子ども達への取り組みについて提案を行います。

